



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第129号

2014.10.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつかっています。

も く じ

お知らせ

- ー展示パネル入れ替えについて
- ーいきもの展示について
- ー活動報告について

活動報告

- ーせどやまの植物観察会
- ー霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会

観察会案内

- ー紅葉・冬芽の観察会
- ーゴギの産卵観察会
- ー千町原 秋の草原保全活動
- ー八幡高原の野鳥観察会

お し ら せ

●展示パネルの一部入れ替えのお知らせ

高原の自然館内の展示パネルの一部が、秋・冬バージョンに変更しました。ブナ林の紅葉の様子や、大陸から渡ってくる冬鳥達を解説しています。

●いきもの展示のお知らせ

高原の自然館内のいきもの展示の水槽にアカザが加わりました。展示期間は1ヶ月の予定です。アカザはナマズの仲間です。ユニークな顔付き・体型のアカザをぜひ見においで下さい。

●活動報告について

下記の活動報告は、都合により、次号以降掲載いたします。

- ・霧ヶ谷湿原の植生調査（秋）
- ・サツキマスの産卵床整備

観 察 会 報 告

●せどやまの植物観察会

開催日時：2014年9月15日（月・祝）9:30

講師：佐久間智子・中島康弘

薄曇りの涼しい気温の中、せどやまの植物観察会が実施されました。せどやまとは、裏山や里山のことを指します。林縁や畦道などに咲く、身近な植物を観察する観察会です。

今回の講師は、植物の専門家である佐久間先生と、芸北トレッキングガイドの会の中島先生です。33名が芸北文化ホールに集合しました。

初めに佐久間先生から、せどやまについて事前学習がありました。以前は、建築材や燃料、牛馬の飼料や堆肥など、生活に必要な物を山から調達するため、伐採や草刈りを行っていたことを聞きました。現在は化石燃料や輸入材等により、山に入る必要が薄れてしまったため、山の荒廃が進んでいることや、植生が変わっていく様子を説明していただきました。

事前学習の後、各自の車で現地まで移動して、植物観察を行います。

林縁では、カンボクの赤く色付いた実、ムカゴニンジンの「むかご」と呼ばれる葉の付根につける種子や、アケボノソウ等を観察しました。水路にはモリアオガエルの幼生の姿があり、子ども達が楽しそうにその姿を追っていました。

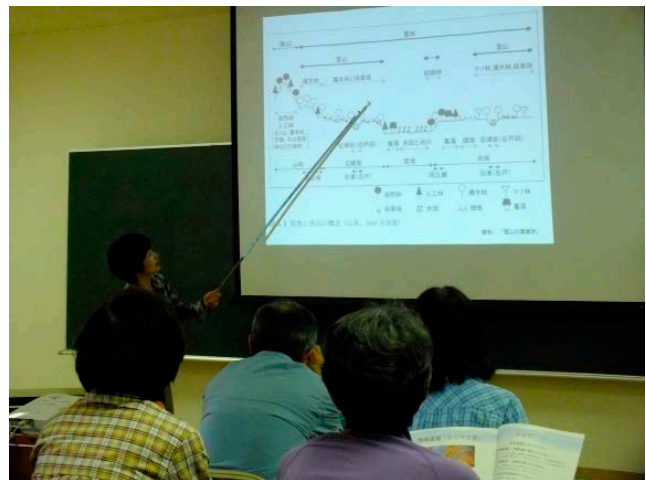
民家と林の間の畦道では、マアザミやオタカラコウ、シラヒゲソウが見られました。

近くには牛を放牧しているという休耕田がありました。現在は別の場所に放牧しているそうです。ここでは参加者は、シバの仲間の見分け方を教わったり、アキノウナギツカミやワルナスビの棘の感触を確かめたりと、講師の話聞きながら、植物をじっくりと観察していました。

農道沿いにある、主にクリやコナラが生育する林縁では、レンゲツツジの冬芽や、まだ青いクリのイガ等、来シーズンに向けて準備する姿が見られました。また、季節外れのキシツツジやクサレダマの花が見られ、予想外の楽しさを参加者に与えてくれました。

芸北のせどやまでは、様々な植物が確認できました。その景観をこれからも見ることで、人といきもの、環境の関係性を改めて考える機会となった観察会となりました。

（ありみつますかず）



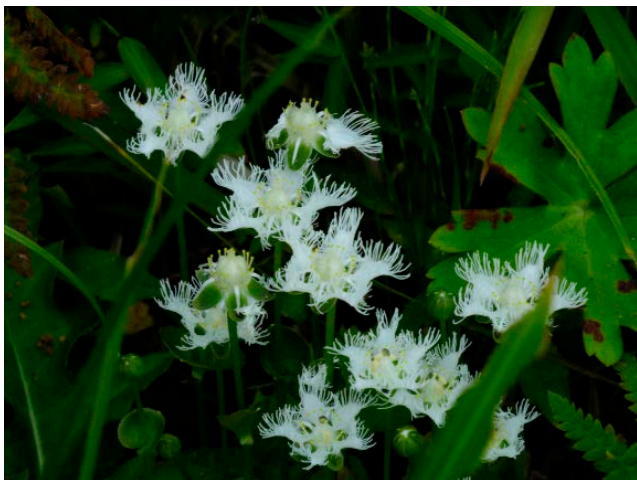
せどやまについて説明される佐久間先生。保全活動として、芸北せどやま再生事業のお話もしていただいた。



まずは林の入口から。足元の水路にはモリアオガエルの幼生がいた。



オオナルコユリの葉の触り心地は？



畦道に咲くシラヒゲソウ。水が染み出していて、周囲はコケに覆われていた



放牧地でワルナスビの説明をする中島先生。すごい棘が生えており、牛が食べないことを聞いた。



冬芽と名がついているが、夏にはできているレンゲツツジの冬芽。

【みなさんの印象に残った物】

「植物が多かった」「新しいフィールドを知り、とても良かった」「たくさんの野花があったこと」「思いがけず素晴らしい所でした。花がたくさん見れたこと」「身近な所に色んな種類が共存、驚き！」「シラヒゲソウの群落」「シラヒゲソウがいっぱい。キシツツジがある」「身近な所にも色々な草花があることに気付きました」「たくさんの草花に出会えた事」「花の多さにびっくりしました」「牛を放牧している田の植物が種類が多く興味深かった」「思った以上に、たくさんの種類の山野草がありびっくりしました！」「花の種類の多いこと、滅多に見られない花の多かったこと」「たくさん植物を見れておどろきました」「シラヒゲソウなどの群生。里山の景色」「せどやまとは何か、少し分かりました」「家の近くに花が沢山あったので感動しました」「道端の草木に目を向けるととても楽しい」「シラヒゲソウとフシグロセンノウが見られたこと」「せどやまの景色」「シラヒゲソウが林縁に多かったです」「モウセンゴケの花のあとを初めて見ました」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「良かったです」「多くの草花を案内していただきありがとうございました」「また来たいです」「気軽にとてもよかった」「秋の一日楽しい散策でした」「楽しかったけど、たくさん歩いて疲れた」「予想以上にたくさんの植物があり、とても良かった」「あまりの植物の多さにびっくり。せどやまの植物はいろいろあってすごい！」「春にも教えをこいたい」「晴天ではないけれど、秋の気配を感じながら里山を歩いて多くの草花を見られて良かったです」「説明がよく分かり、勉強になりました」「田のあぜを観察するよい機会だった」「参加して良かったです」「身近な所なのに、多くの種類が見られて良かったです」「身近に楽しい植物観察ができて、また個人的にも観察に来たいです」「身近な人家、道路の周りに多くの植物が育っているのにおどろいた」「次回も来たいと思います」「今日は大変良かったです」「いっぱい花や草があって楽しかった」「色々な身近な植物が多く見られたこと」「素晴らしかったです。春にも参加させて頂きたいです」「ゆっくり歩きで平地は楽ですね」「あまりの植物の多さにびっくり」

観 察 会 報 告

●霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会

開催日時：2014年9月27日（土）9:30

講師：岩見潤治・大竹邦暁・松田賢・和田秀次

夏に続き、霧ヶ谷湿原秋のいきもの観察会が開かれました。講師は植物担当の和田先生、大竹先生、昆虫担当の松田先生、岩見先生の4名です。

二班に分かれ、霧ヶ谷湿原の下流から歩きました。一番最初に見つけたのはハリガネムシです。その姿から名前がついたようですが、生態を聞くともっと驚きました。岩見先生からは「旅をするいきものです」と紹介があり、幼虫時にカマキリに寄生することを知りました。

道路沿いのしげみにはエンマコオロギやカマキリ、アカハライモリがいました。ニホンカナヘビは捕まえた時にしっぽを自切し、そのしっぽが切り離されても動いているのを見て目がまんまるになっている参加者もありました。敵に襲われた時に逃げる為だと聞き、その構造にも驚きました。

他にもオオヘリカメムシの匂いをかいたり、ウバユリの種をのぞかせてもらったり、マアザミやツリフネソウの種をとばしてみたりと、遊びを通して、いきものが生存するしくみを学びました。

ルルルル・・・と鳴くカンタン、めずらしい白花のタンナトリカブトやイズモアザミ、実りの秋らしくカンボクやガマズミの実なども観察しました。

また、カエルの上手なつかみ方や、トンボの捕まえ方など調査をされている専門家の先生ならではのいきものとの向き合い方も親子連れには好評でした。

子ども達からは「コオロギを初めて自分で捕まえて楽しかった」「ヘビの骨を見れた」といった感想がありました。

ツタウルシとイワガラミの見分け方や、フィールドから帰宅した時のケアの仕方など、野外活動に役立つ情報もありました。秋の澄んだ空気の中で、いきものの関わりを学びながら、しっかりと観察ができた実のある観察会となりました。（このやよい）



和田先生からウバユリの種についてクイズ！



中には薄くてひらひら飛ぶ種子がたくさん出ていた。



岩見先生から「青リンゴのガムの匂いがする」と教えてもらったオオヘリカメムシ。臭くない！



サラシナショウマもよく咲いていた。



カミキリムシの仲間が食べたあと。



しっぽを自切したニホンカナヘビ。また生えてくると聞いて安心。

【みなさんの印象に残った物】

「ハリガネムシがカマキリをコントロールして水辺へ向かう事 (5)」「たのしかったです」「ツリフネソウがはねて楽しかった」「タカラクジ・ナメクジ! (2)」「トノサマガエルをつかまえたこと」「初めてヤマカガシを見てびっくりした。」「トリカブトに白い花が咲くものがある」「白いハリガネムシは初めてみた」「カンタンという虫の鳴いている声をきけたこと」「湿原には、水と植物や昆虫の宝庫であることが良く判った」「ツリフネソウの種をつかんだら、とんでいったのでびっくりした」「ヘビの骨を見つけたこと」「大きなキノコ!ハリガネムシ、イモリ」「和田先生のトーク」「“何か用?”と訴える表情をするアマガエル」「色々くわしく説明してくださったこと」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「楽しかったです。もっと観察できたら良いと思いました (3)」「カメムシからリンゴのにおいがしたのでびっくりした」「沢山のトリカブトを見た」「生きものを見るのも楽しいですね」「植物・生物の種類が多いのにわくわくしました」「今日ひさしぶりにきて、前に行った時マムシを見て、次はヤマカガシを見てぼくは運がいいなと思いました」「初めて見たハリガネムシ。先生がいなかったら分からなかった」「出席する毎に少しずつではあるが名前が頭にはいっていく」「1週間前にも来たけれど、ミゾソバなど草モミジが紅葉していた」「たくさんの植物・昆虫を見たり、説明がきけて本当におもしろかったです」「植物と昆虫両方の先生がおられて良くわかった」「沢山の花が見られて大変よかった」「いろいろ虫をつかまえることができてうれしかった」「名前は聞いた事があるけど、実際に見るのは初めての虫や植物があって、とても楽しかったです」「もう少しツツコメばよかった。と少し後悔しています」「楽しい時間でした。植物をもう少し覚えなければ!! (自覚)」「今日はお天気も秋らしい気候で歩きやすく、先生方の説明も良く、楽しく大勢の人と歩けて良かった」「分かりやすいせつめいでよかったです」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 紅葉・冬芽の観察会

開催日時：2014年11月3日（月）9:30
集合場所：高原の自然館
講師：斎藤隆登
準備：基本セット、暖かい服装
定員数：30名
参加費：一般=300円、賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

植物達はどんな姿で冬を過ごしているのでしょうか。冬芽にも植物ごとに特徴があり、その違いをルーペでじっくり観察します。花や葉がない冬でも植物を楽しめるようになりますよ。紅葉を楽しめる季節でもあります。暖かい服装でお越しください。

● ゴギの産卵観察会

開催日時：2014年11月9日（日）9:30
集合場所：大朝公民館
講師：内藤順一
準備：基本セット、双眼鏡、暖かい服装
定員数：30名
参加費：一般=300円、賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

サツキマスから少し遅れて、ゴギが繁殖の時期を迎えます。事前に学習を行ったあと、現地にて生育環境や繁殖の様子を観察します。普段は警戒心が強く、中々姿を見られませんが、繁殖期なら日中でも観察できます。山中での観察会ですので暖かい服装でお越しください。

● 千町原 秋の草原保全活動

開催日時：2014年11月15日（土）8:00
集合場所：山麓庵
準備：作業セット
参加費：500円

今年で11回目を迎える千町原の秋の草刈りです。草刈りや草集め、低木の伐採を行い、防火帯を作ります。天候によっては寒くなりますので、暖かい服装でお越しください。

※お早めにお申し込み下さい。申し込み者には詳細を連絡します。

● 八幡高原の野鳥観察会

開催日時：2014年11月16日（日）9:00
集合場所：高原の自然館
講師：上野吉雄
準備：基本セット、暖かい服装、双眼鏡、あればフィールドスコープ
定員数：30名
参加費：一般=300円、賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

一足早く冬が訪れる八幡高原で、冬鳥を観察します。草原、湿原、田園、溜め池で、鳴き声や姿を探しましょう。千町原ではキレンジャクやツグミ、田園では国内でも珍しい冬鳥のシラガホオジロが観察できるかもしれません。溜め池では、シベリアからやってきたばかりのカモ類を観察します。

各地域で催される祭りの幟を目にするこの頃、アキノキリンソウ、リンドウなどが、静かな秋に色彩を与えています。気をつけながら地面を見るとセンブリの姿も！千町原を訪れて、ススキと一緒に眺める夕焼けは、特別な時間だと感じます。もうすぐ紅葉のシーズンが訪れます。赤や黄色に染まる時を楽しみにしながら、八幡高原を歩いています。（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info